

慈恩寺 Times

第34号

【発行】

寒河江市慈恩寺振興課

【発行日】

令和2年2月20日(木)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市慈恩寺振興課

TEL:0237-86-2111(内線 452)

E-mail :jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

姿を変えていく山門前石段！



写真① 山門前に電柱がある



写真② 山門前電柱撤去後

雪化粧も映える慈恩寺ですが、今年はあまり雪が降りません。雪の慈恩寺を見ることが出来ないのは残念ですが、慈恩寺には坂が多いので、参拝者にとっては優しい冬となっています。史跡としての整備が進み、徐々に姿を変えていく慈恩寺に、ぜひ足をお運びください。

さて、史跡整備事業として、来跡者の主要コースにある山門前石段付近を、石段の修繕や危険樹木の伐採などを行い、昨年度から集中的に整備を進めていくところです。昨年の11月には、雨水が石段に流入するのを防ぎ、石段を長期的に保全するため、石段の上部に側溝を新設しました。

また、昨年の12月には、景観の支障と

なっていた石段付近の電柱4本の撤去及び移設を行いました。これまでは石段下から山門を見上げると、電柱や電線が視界に入り、景観の支障となっていました(写真①)が、この電柱撤去により、電柱や電線に遮られることなく、山門を見上げることが可能となりました(写真②)。かつての慈恩寺の姿(写真③)にまた一歩近づきました。写真愛好家の方には被写体としても大変お勧めです。現代風に言うと、インスタ映えします。ぜひ一度足をお運びいただき、さっぱりと美しく様変わりした山門をご覧ください。

電柱の撤去及び移設にあたっては、地権者の方から多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。



写真③ 大正時代(推定)の写真



本堂から三重塔への階段に設置された手摺

昨年10月に、寒河江ライオンズクラブ様から、本堂から三重塔へと続く階段に手摺を設置していただきました。高齢者の方や足腰に不安のある方も、より安全に通行できるようにになりました。寒河江ライオンズクラブ様ありがとうございました。

本堂から三重塔への階段に手摺設置

モニターツアー実施！

「慈恩寺は歴史があって素晴らしい仏像があって・・・、でもその割に知名度があまり高くないので、慈恩寺の良さをもっとたくさんの人から知って欲しい！」そんな思いもあり、昨年9月に、慈恩寺・左沢・榎平の榎田・空気神社を巡るモニターツアーが行われました。ツアー定員40名に対し、キャンセル待ちが出るほどの人気ツアーとなりました。

慈恩寺では初の試みとなる写経を実施し（写真④）、ツアー参加者から好評を博したところですが、風食にはこれも初の試みとなる、慈恩寺桂会によるおもてなし料理「桂膳」

（写真⑤）を提供し、これもツアー参加者から大絶賛をいただきました。初の試みにも関わらず、快くご協力いただいた桂会の皆様、ありがとうございます。



写真④ 慈恩寺で初めて写経を実施



写真⑤ 慈恩寺おもてなし料理「桂膳」

慈恩寺応援歌を奉納！

昨年9月24日、慈恩寺観光親善大使の花岡和香さんの一行42名が慈恩寺を訪れ、慈恩寺応援歌2曲「慈恩寺の人」「北の慈恩寺へ」を奉納しました。奉納は今年で2年目。花岡和香さんの今後のご活躍を期待しています！



花岡和香さんが慈恩寺で熱唱する様子

留学生が写経・修験の道ウォーキングを体験！

アメリカ、オーストラリアなどからの留学生を含む東京外国語大学8名、山形大学1名の学生を対象に、慈恩寺を中心に寒河江市のインバウンド推進・地域活性化を目的としたスタディツアーが行われました。

慈恩寺では、写経と修験の道ウォーキングの体験が行われました。学生からは、「山王台公園からの眺望に感激した」、「静かで緑に囲まれていて落ち着く」、などの感想をいただきました。他にも学生から観光促進のための提案なども受けており、それらの感想、提案を今後の慈恩寺の保存と活用に活かしていきます。



留学生が写経をする様子